

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042-769-8236
担当部課名	経済部	商業観光	課	商業振興 班
事務事業名	商店街振興支援事業		事業コード	31420

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第4節	商業・サービスの振興	11年度
施策名	第2施策	にぎわいのある商店街づくりの支援	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市商店街活性化事業補助金交付要綱

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
商店街が実施する活性化事業に要する経費の一部を助成することにより、事業の推進を促し、まちづくりや商業地の形成・商業の振興を図る。		市内商店街団体	
		対象数	69団体
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1. ステップアッププラン策定事業補助 ・1団体、200千円 2. ステップアップ事業補助 ・5団体、6,618千円 3. 商店街空き店舗・空き地活用事業補助 ・4団体、1,504千円 4. 商店街イベント事業補助 ・36団体、17,235千円		にぎわいのある商店街づくりの支援 ・商店街ステップアッププランによる実験的事業の促進 ・空き店舗対策の促進	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度
		なし	

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

〔金額単位：千円〕

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	19,276	24,655	25,557	31,419	37,673
	人員・時間数	(300時間)	(410時間)	(500時間)	(540時間)	(670時間)
	人件費	1,254	1,713	2,090	2,257	2,800
	その他経費					
	合計	20,530	26,368	27,647	33,676	40,473
特定財源						

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 A ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
----------------------------	----------------------------	----------------------------

理由： 具体的な指標の設定は困難であるが、事業を実施することにより来街者が増え、商店街がにぎわいを取り戻しているため。

(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由： 商店街を取り巻く状況は年々厳しくなっている現在において、商店街の活性化の面で効果を発揮しているため。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	

(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由： 商店街がにぎわいを取り戻している点においては、効果があがっているが、顧客増や売上増については不明確な点があるため。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	

(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由： 空き店舗活用事業については、県の補助制度があるが、地域コミュニティ機能を有する商店街の性質上、市が実施することが妥当と考える。なお、民間が役割を担うことは困難と考える。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	

(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由： 商店街の実施する活性化事業は、周辺住民の交流・コミュニティ形成の機会創出という側面もあり、様々なイベントへ多くの周辺住民が参加することにより、交流が図られている。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	

(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由： にぎわいのある商店街づくりの支援のためには、当該事業は効果を発揮しており、有効であると考えられる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 商店街が個々の実状や課題を整理し、どのような補助制度を活用することが最も効果的であるかを再度検討すれば、より効果的な活用ができると思われる。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明： 商業者自身の自助努力が必要との考えから、補助率の見直しなどが考えられる。</p>

7 総合評価

評価 A ▼	県内他市町村においても本市と同様の支援策が設けられている。	
	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	<p>説明</p> <p>商店街の来街者が減少し、空き店舗が目立つなど商店街を取り巻く状況は厳しいものがあるが、これらの課題を打開して商店街がにぎわいを取り戻し、市の商業振興を発展させることが本事業の目的である。</p> <p>本事業の実施により、商店街がにぎわいを取り戻し、顧客増や売上増が期待できるとともに、個店の意識向上や個店間の競争意識の高まりにつながり、商店街活動の活発化が望めるため、今後も継続していくべき事業であると考えられる。</p>
<input type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了	

8 二次評価における変更点

--